



## 日本政府、爆発性危険物リスク教育事業に追加支援

**2020年3月31日**、バクダッド－国連地雷対策サービス部（UNMAS）は、日本政府からの**34万5千454米ドル**の財政支援を歓迎致します。本支援は爆発性危険物の脅威軽減を通じた、人道・安定化支援です。

UNMAS はパートナー団体と共に活動を続け、イラクの中でも特にイスラム国（ISIL）から解放された地域における活動に重点を置いています。日本の皆様による本支援は、UNMASによるリスク教育を含めた爆発性危険物対策活動を支援するものです。リスク教育は爆発性危険物の存在が疑われる地域への帰還者やそこに住むあらゆる住民に対して行われ、その内容は爆発性危険物の危険性、危険物に対する意識の向上などの命を守るための予防的措置と位置づけられます。

橋本尚文駐イラク特命全権大使は、「日本は、爆発性危険物対策を支援する本事業を含め、総計約**4,100万ドル**にのぼる新規対イラク支援を決定した。この支援により**2014年以降の危機に瀕した人々への支援は5億4千万ドル**に達する。日本の支援により避難民の安全な帰還を願う」と述べられました。

UNMAS イラク、シニア・プログラム・マネージャーのロードハンマー・ペアーは、「ISILから解放された場所には多くの爆発性危険物が残り、特にモスル旧市街のような地域では、被害者となりやすい子どもたちを含めた地域住民にとって、即席爆弾（IED）が深刻な脅威となっています。爆発性危険物の処理もしくはリスク教育に対する支援であっても、日本の継続支援は、イラクにおける人道・安定化活動に今後も寄与していくことでしょう」と述べました。

日本政府は UNMAS のイラクにおける爆発性危険物対策事業の重要な支援者であり、拠出額は**2016年以降通算で1,474万米ドル**に及びます。

連絡先

ロードハンマー・ペアー、UNMAS イラク・シニア・プログラム・マネージャー  
[lodhammar@un.org](mailto:lodhammar@un.org)